

0歳 1歳6か月 2歳 3歳 6歳 7歳 15歳 18歳 19歳

保育・教育

こども園・保育園・幼稚園等

義務教育
(特別支援学級・
通級指導教室)

高校

大学生・社会人

特別支援学校(幼稚部・小学部・中学部・高等部)

保健福祉センター(各種相談)

赤ちゃん 訪問	1歳児 訪問	1歳半 健診	2歳児 訪問	3歳児 健診	ふくろう 連絡便事業	就労継続支援 A型事業所 就労継続支援 B型事業所
乳児健診 (4か月、10か月)	あそびの ひろば	ぱすてる ひろば	幼児言語教室(6か所) 就学相談	アセスメント ツール トライアル実施	就労移行 支援事業所	
育児相談 (6か月)			障害児巡回指導相談 (こども園課)	保育所等訪問支援	ハローワーク	

医療機関

児童発達支援事業所

児童発達支援センター(いこいの家・もも)
母子療育訓練センター(清水うみのこセンター)

放課後等デイサービス
事業所

障害児相談支援事業所

計画相談支援事業
所

きょうり

・相談支援・発達支援・就労支援(各種研修会等)
・支援体制サポート強化事業
・家族支援事業

市政変革研究会（子育て分科会） ※参考資料

現場の課題とは？

- ・待機児童（障がいを抱える子）の問題
- ・インクルーシブ保育
- ・支援先について
- ・実態調査をどの様に行うか 等

当協議会で出た課題について

<第1回>

- ・発達早期 第3次支援の場が不足している
- ・発達早期 軽度の子が専門機関（いこいの家、うみのこセンター）へ来ている。定員を圧迫している。
- ・発達早期 こども園等に通っている子にも通えるような仕組みにした方がよい
- ・子ども園等の入園について 障がいのある子が地域の保育園に行けない。加配が付く保育園が公立なので、公立に入るしかない。保護者の送迎が困難。
- ・障がいのある子の入園に関して 入園コーディネーターを配置するとよい
- ・にじいろ子育てハンドブックの増刷
- ・啓発活動について

<その他課題（抜粋）>

- ・強度行動障害児（者）への支援体制について
- ・児童発達支援事業所、放課後等デイサービス支援事業所の質の向上について
- ・かかりつけ医との連携について
- ・学校と放課後等デイサービスの連携について
- ・合理的配慮等 情報の引継ぎについて
- ・私立高等学校への支援の必要性
- ・わたしのトリセツの内容について（福祉サービスについて、苦手を認知し支援を申し出ることについて）
- ・きらり支援者人数の拡大について
- ・当事者の居場所、拠点について
- ・本人への支援（情報提供、特性理解、障がい告知について）について 早い段階から進めることの必要性
- ・就労関係の連携について
- ・母子支援の必要性について（親子教室等）
- ・高校の支援体制について
- ・相談を受けて次の支援先へつなげることについて（支援できる事業所、人材を増やす）

課題に対する取り組み

- ・きらり実施事業（研修会、わたしのトリセツ、大学出張窓口等）
- ・ふくろう連絡便事業
- ・かかりつけ医への情報提供（発達早期）
- ・サポートファイル